

飛躍

HIYAKU
第400号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2020年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

ダンス部 USA Virtual Solo Contest HIPHOP 部門 金賞・優秀賞受賞!



金賞&優秀賞受賞!!!

3年6組 鈴木花梨

今回、私は8月に行われた2020 USA Virtual Solo Contestに出場し、金賞・優秀賞をいただくことができました。本来なら3年生全員で出場するはずだった最後の大会もなくなってしまい、悔しい思いをしていた中、この大会があることを教えてもらい、出場することを決めました。私は2曲を使った作品にしたので、曲ごとの表情を大事にし、いかに雰囲気を変えられるかを意識しました。また、作品を作るにあたって悩むこともありましたが、今持っている自分の力を最大限に発揮できるように頑張りました。その結果、金賞そして優秀賞と伝えられた時は本当に嬉しく、挑戦してよかったと心から思いました。そして、この結果を残すことができたのも顧問の先生方・コーチ・後輩・家族の支えと、特にたくさんの応援をしてくれた3年生の仲間のおかげです。本当にありがとうございました。この後は建学祭、卒業公演があり、ダンス部全員で全力を尽くしていくので、応援をよろしくをお願いします!



金賞受賞!

3年1組 中邨 亜弥

今回私はUSA Virtual Solo Contestにおいて金賞を受賞することができました。ソロコンテストということで自分で曲を決め、振りを作りました。またビデオ判定の大会なのでどれだけ迫力を出せるか、ビデオ映えする衣装やメイクは何かを考えるのが難しかったです。また、自分で全部考えなければいけないため、全員で出る大会とは、また違った大変さがありました。しかし、仲間にも助けてもらい無事終わることができました。私はこれから先もダンスを続けたいと思っているので、今回いただいた金賞を糧に活躍できるように頑張ります。



金賞受賞!

3年10組 森 海斗

今回僕はUSA Virtual Solo Contestで金賞を受賞することができました。今回は1人で踊るため、いつもの皆と揃える振りではなく、自分の個性を前に出して踊るようにしました。僕は自分の得意なPop Danceを軸にBreak Dance、HipHopを付け加えて振りを作りました。1分30秒という短い時間で自分のやりたいことを詰め込むのはとても大変でしたが、自分の納得がいく作品ができたと思います。これからもダンスを練習して上手になれるように努力していきます。



学年だより 中1

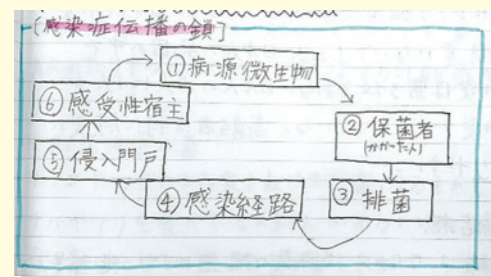
夏休みの宿題

夏休みの宿題で興味のある科学的な事項について、理科の宿題でレポートを書きました。その中で、コロナウイルス・環境問題についてレポートを書いた生徒がいたので、いくつか紹介します。

ウイルス

A組 半田 真望

この実験にした理由は、新型コロナのようなウイルスはどんな種類があるのだろうか、どうしてウイルスにかかってしまうのか、このようなことを調べてみたいと思ったからです。調べてみて、ウイルスにはたくさん種類があり、自分の身の周りにもたくさん潜んでいることがわかりました。自分に関係ないと思っても近くに感染者がいる時、必ずと言っていいほど自分に感染することもありました。今のコロナウイルスは無症状なことも多いため、自分に関係ないと思わずにしっかり対策をとって生活したいと思いました。



海洋プラスチックごみを集めてみました

B組 大久保 亮

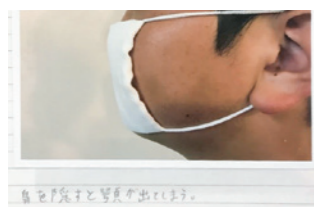
2050年、海のプラスチックごみは魚の総重量を上回るといわれています。プラスチックごみのルーツを探るため海岸や海中のごみを検証してみたいと思いました。実際に海に潜って調べてみると、海にはプラスチックごみがたくさんありました。元気に泳ぐ魚の群れよりもプラスチックがあふれる海なんて見たくありません。コロナの今、マスク・手袋・防護服などプラスチックは必需品ですが、プラスチックの一番の問題は自然に分解されないことです。早く自然由来で製造コストのかからないバイオプラスチックが手に入るとよいと思います。僕はこれからも海岸清掃を続けていきます。



マスクの種類と性能について

A組 白土 光優

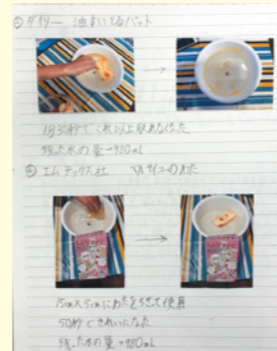
新型コロナウイルスにより、私たちの生活が大きく変わりました。外出時には3密を避ける行動が必要となり、また感染拡大防止のため常にマスクをつけるようになりました。感染症にはマスクをして飛沫を防ぐことが重要であり、このことからマスクを着けている時間が長くなり、より使い心地の良いマスクを選ぶようになりました。以上のことから日々使用しているマスクの特徴と性能を調べ、またマスクを実際に装着して検証してみました。調べてみて、マスクの種類や装着の仕方によってマスクにすき間ができてしまい、効果に差があることがわかりました。結論としてはBFE値(細菌ろ過効率)やPFE値(微粒子ろ過効率)の高いマスクを使用するのがいいとわかりました。



重油流出事故を受けて水から油を回収する

B組 田 祐介

この実験をしようと思ったのは、貨物船「わかしお」がインド洋モーリシャス沖で座礁し、大量の重油が流出してしまった事故がきっかけです。流出した量は1000トン以上で、半分も回収されていません。この重油問題に貢献できないかと思い、調べました。水にラー油を垂らして、キッチンペーパー・アクリルたわし・油吸着シートを使用して、どれが油を早い時間かつ、水を吸収しなくてすむかを調べました。調べてみて、この事故の重大さにショックを受けました。僕は最近釣りに出かけることが多いのですが、ゴミが海に捨てられているのを見て悲しくなります。モーリシャスの事故も東京湾のゴミも人間が引き起こしている環境破壊です。でも「油吸着シート」を作り出すのも、落ちてくるゴミを拾うのも人間にしかできないと思っています。自然や自分の周りのことに気づいて、良い行動ができる人間になりたいです。そしていつまでも地球環境について考え続けていきたいです。



学年だより 中2

新チームの抱負

中等部生活も後半戦になります。部活動では3年生の先輩たちが引退し新しいチームになりました。運動部のキャプテンに決意を書いてもらいました。後輩たちを引っ張っていきよう頑張ってください。

女子バスケットボール部 多勢 美尋

私たち女子バスケットボール部は新チームとなって、今まで以上に多くの試合で勝てるように練習をしています。2年生は自分たちがチームを引っ張らなければと気持ちを切り替え、真面目に練習に取り組んでいます。1年生も技術向上のため積極的に練習をしています。私たちのチームには身長が高い人がいないので、その分スピードを速くして攻めて、守るところはしっかり守りたいと思います。今はあまり周りを見る事ができず、チームではなく個人で動いているような状態なので、チーム全員で協力して一つ一つの試合に勝てるようにしていきたいです。一つ上の先輩たちの分まで一生懸命努力して勝てるように頑張ります。



男子バスケットボール部 照屋 琉心

今年の目標は都大会優勝です。まだ新チームになったばかりなのでチームプレーが上手くできていません。今のチームにはプレーでの支え合いがないので、もっと周りを見て自分自身ではなく、自分+チームメイトとして考えられるようにしていきたいです。そうすればチームとしてまた1つレベルが上がるといいます。このチームにはあまり大きい選手がいないので、その分身体を鍛えて大きい選手たちと戦い合うことができるよう頑張ります。目標は高いほどやりがいがあると思います。僕はつらい時に声を出して助け合えるチームが一番強いチームだと思います。だからつらい時こそ声を出し、頑張れるチームになりたいです。



ソフトテニス部 柿澤 清人

中1が入り新チームになった今、目指している目標は団結力を強くすることと都大会出場です。団結力があると、つらい練習を乗り越えた時や大会で勝った時に同じ気持ちを持つことができるからです。また、大会に勝ちたいと思う気持ちや練習に身が入ると思ったためにこの目標にしました。今の中3の先輩は都大会に出場できなくなり、さらにコロナによって引退試合が中止になりました。とても悔しい気持ちだと思います。その代わりに自分たちが出場して先輩たちの悔しい気持ちを晴らしたいです。僕たちは週3回しか練習がありませんが、1回1回の練習の質を高くしながら目標に向かって頑張ります。



剣道部 竹内 海翔

僕たち剣道部は、昨年の団体戦の人数が1人足りない状態で、いつもあと一步というところで勝ち切ることができませんでした。嬉しいことに今年は新入部員が2名増え、チームもしっかり5人揃えることができました。今のチームの目標は関東大会出場です。ですがこのチームのレベルはまだ低いです。同じチームとして一緒に頑張る目標を達成できるように努力したいです。また高校生の先輩と同じメニューをこなしていかなければいけないので、とてもハードな練習になります。ですがチームとして誰一人も欠けることがないように、全員で日々努力していきたいです。



学年だより 中3

新たな目標を胸に

中学校生活もあと半年となりました。部活動の経験を通して、高校に進学したらどのようなことを頑張りたいのか書いてもらいました。

ソフトテニス部

A組 大古殿 真緒



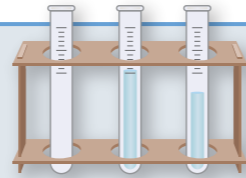
あと半年で中学生生活も終わります。私がこの3年間で部活動を通して得たものは、同じ学年の友達とは違う、普段はあまり話さない他の学年の人たちとの関わりを持つことができたことです。こうした人たちと関わることで、さまざまな考え方ができるようになり、とても勉強になりました。

また、学年が上がるごとに、責任を意識しなければならない機会が増えて、下級生に対してどうお手本になれるかなど、自分にとっても成長を感じることができました。

高校生になれば、生徒数が増えてさらに自分が関わる人も多くなります。中等部で培った経験を十分に生かして、また新しい友達と、楽しい学校生活を送っていききたいと思います。そして、新たな気持ちで部活動を頑張り、自分自身もさらに成長していきたいと思っています。

物理化学部

B組 西崎 孔明



私が入学してからこれまで、常に心がけていたことは、責任を持って慎重に行動することです。中学2年生の頃から、物理化学部中等部部長として部活動を第一に考えて行動しようと思っていました。物理化学部は自由に研究できる場所であり、私はそんな部活動のことがとても好きです。

しかし、部活動全体のやる気が下がってしまうことがあります。私は部長として責任を感じ、この素晴らしい部活動をダメにはしていないと考えました。

意欲の薄れてしまった部員に対して積極的に声掛けを行い、取り組む姿勢を考えて直すきっかけになればよいと思います。それによって物理化学部の雰囲気をもっと良くなるのではないかと信じています。

高校生になって、新しい研究の目標を見つけ、仲間と協力し、部活動をさらに充実したものにしていきたいです。

サッカー部

A組 長野 侑平



この中学3年間の部活動を振り返ってみて、自分の改善すべき課題をもう一度、見直すことができました。「パス」や「ドリブル」、「シュート」など、どうすれば上手になれるのか、一回一回のプレーに集中することで自分の視野を広く持つことが、重要だと気づきました。

そして高校の部活動に入って自分がどのくらい活躍できるかわからないし、失敗してしまうかもしれません。しかし、自分の得意とする「視野の広さ」を活かすことで、「自分」にも「味方」にも目を向け、自分なりのゲームメイクができるようになりたいです。だからこそ、プロの選手はどのようなことを意識して、試合をコントロールするのかを研究して、積極的に行動したいです。そしてボランチとしてスターティングメンバーを勝ち取り、東海大高輪台高校サッカー部で全国の舞台に進めるように頑張ります。

卓球部

B組 小林 将太



中等部に入学した僕が卓球を始めたのは、新しいことにチャレンジをしようと思ったからです。1年生の頃は大会に出場する機会がなく、応援しながら先輩たちの活躍を見ていました。その中で先輩の背中を見て、早く先輩のようになりたいと憧れを抱き、休まず練習しました。やがて部長になり、部員の人数も増え、自分の責任感も強くなり、部活動全体としても成長していききました。

3年生になり、部活動の期間が短くなってしまいましたが、顧問の先生の指導や仲間と切磋琢磨することで、技術も向上し、部長として後輩の面倒を見てあげることもできるようになったのは、大きく成長した証であると感じています。

高校では部活動に限らず、いろいろな活動を通じて自ら積極的に多くの人とコミュニケーションをとり、人との付き合いを大事にしていきたいです。

学年だより 高1

学年委員長・副委員長・学年目標決定

7月13日、学年委員会(級長会)が行われ、学年目標を決めました。以下、学年目標と各クラス目標を紹介します。

●学年目標

「永却回帰 ～ゆるぎない意志をもって、この時間を善く生きる～」

学年委員長 9組 佐藤 寛之 副委員長 4組 小林 春輝

●クラス目標

1組 one for all, all for one

岩永 章太郎

1組のクラス目標は「one for all, all for one」です。その言葉通り、1人はみんなのために、みんなが1人のためにという意味を持ちます。新型コロナウイルス感染症により学校が始まるのが遅れ、お互い馴染めていなく孤立する人が多かったです。そのため、協力し合ってこの状況であってもクラスの一人ひとりが良くしようという思いでこのクラス目標にしました。これからさまざまな行事が始まるので、この目標を意識して、良い行事になるようクラス一丸となって努力したいと思えます。

2組 We need smile ～前向きに～

斉藤 和奏

私たちのクラスでは、楽しむということを前提に話し合いが進められていました。毎日笑顔を決めず大切に過ごすという意味が込められています。2組はいつもにぎやかでその一方、穏やかな雰囲気も持っています。この1年間はこれをキープしつつステップアップもしていけたらいいなと思います。

3組 凡事徹底 ～当たり前を極める～

小泉 萌花

2カ月遅れで高校生活が始まり、徐々にクラスも打ち解けることができ始めました。高校1年生だからこそ緩んでしまうこともあるかと思えます。だからこそ、1年生のうち当たり前を定着させることによって、次の学年でより高い目標を掲げられるようにと、皆で決めました。これからも気を引き締めてこの1年間を過ごしていきたいです。

4組 一年四組 什の掟

小林 春輝

私たち1年4組のクラス目標である「一年四組 什の掟」は担任の鈴木先生の故郷である、福島県会津若松市の白虎隊の心得となっていた「什の掟」をもとにして作りました。私たちは、この掟を胸に1年4組で過ごす1年間を最高の1年にします!

5組 加藤新也しか勝たん!

小川 和真

最近の流行に乗って、5組はこのクラス目標を考案しました。意味は、担任の加藤先生に勝る人はいないという意味で、簡単に言うと、加藤先生が大好きという意味です。また、コロナの影響で学校生活が少なく、まだ皆実感があまりないので、このクラス目標を感じられるように1年間楽しく過ごしていきたいです。

6組 愛楽武遊

近藤 美優

1年6組は、基本みんな仲良く、明るくて楽しいクラスです。ですが、最近、いい意味でも悪い意味でも学校に慣れてきたので、クラス目標「愛楽武遊」のもと、楽しくやる時は楽しくやり、けじめをつける時はけじめをつけ、勉強と部活動の文武両道を心がけて頑張っていきたいです。まだ学校が始まったばかりですが、最後はこのクラスでよかったと思えるクラスにしたいです。

7組 楽華友絆

小嶋 美結

7組のクラス目標は、クラスの一人ひとりに入れたい漢字を投票してもらい作りしました。この目標にふさわしいような、楽しく、友情のあるクラスを作っていきたいです。

8組 元気(1+π)友と(みんなの)愛で輝く笑顔が∞

茶木 佑仁

目標の読み方は、元気いっぱい友情とみんなの愛情で輝く笑顔が無限大です。8組は、どんな時も元気いっぱいに取り組み、みんなに対して愛情を持って接していくことで、笑顔が無限にあふれるクラスにしよう、みんな考えてきました。担任の先生と協力し、虹色に輝くクラスにしたいと思えます。

9組 味祭

佐藤 寛之

高校生活というものとは180度違います。今までは地元と同じ年代の友達と学校生活を送ってきました。高校ではさまざまな場所から、さまざまな目標を持って高校に来ています。育ってきた環境、学校カリキュラムももちろん違っているため、一人ひとりの個性が強いです。なので「アジサイ」のように一つ一つの花が鮮やかで、お互いを支え合って一輪花となる。そのように互いを支えながら一つ一つの花(個性)が輝くようなクラスにしていきたいです。

10組 万能細胞

原 希々花

10組の万能細胞という目標は「クラスを一つの細胞に見立て、その中にいる一人ひとりが、いろいろな面で活躍していこう」という意味があります。人間というものはすべての人が同じではなくきちんと個性を持っています。そのため、一人ひとり得意・不得意が存在します。10組ではクラスメイト全員がお互いに協力し合い、意見を共有し合うことで一つになり、さまざまな壁を乗り越えていこうと考えています。

学年だより 高2

休校期間で感じ、考え、行動したこと

前期期末試験も終え、後期に入りました。振り返れば、今年度は休校から始まり全員が長い自粛期間を過ごしました。あの期間に、各々がさまざまなことを感じ、考え、行動したようです。

1組 細田 夢菜
もし、新しい感染症が流行らなかつたら、すぐにワクチンや治療薬ができていたら、今も友達と行きたい所へ自由に行くことができ、何も気にせずに出かけることができていたでしょう。しかし、今はいろいろな場所に行くにもマスクをして、なるべく人が多くない場所を選ぶなど、いろいろなことを考えながら外出するようになりました。これまでの生活で自分がやれていたことのありがたさを感じています。

2組 工藤 由季也
私は、この期間で成長できたと実感することがありました。たっぷりある時間の中で将来について考えることができました。私の将来の夢は警察官になることです。どのようなことをしたら警察官になれるのか、警察の仕事はどのようなものなのかなど、本を買って勉強したり、インターネットで調べたりしました。また、体が鈍らないように、筋トレや軽い運動を欠かさず、健康面などにも気を付けました。今日の自分よりも明日の自分が成長しているようにすることを意識して、やるべきことを一生懸命にやるようにしました。

3組 本間 安慈
新型コロナが流行り自粛期間の時に、私の祖父は病気が悪化し手術をしました。とても体調が悪そうで、おじいちゃん子の私は心配でしたが面会もすることができませんでした。退院後も免疫が弱っていたため、なかなか会いに行くことができず、家族の中でも感染予防を強化しました。自分の行動で誰かのリスクを低減できるということを、私はこの自粛期間で強く学びました。

4組 川出 菜月
今回の自宅待機期間中にいろいろな行動が制限されてしまい、やりたいことが思うようにできなさと感じました。私は茶道部に所属しているのですが、部活動で茶道をする時は、道具が揃っているので不自由なくできていたのですが、家では茶道をする所もなければ道具も揃っていません。だからといってやらなければ上達しないので、自分なりに家でできることを模索し練習していました。このような状況下でも自分で考えることで新たな発見もあったのでよかったです。

5組 沖胡 葵
これまで学校生活や部活動がある時は、家で休みたいと思う時もありました。しかし、家にいなければならないという事態になると、運動することや忙しかった日々は私にとって大切なものだったのだと心から思いました。どんな状況になっても部活動に対して前向きに考えられるか、家にいなければならない状況でどれだけトレーニングができるか、ということが大切だと思いました。今回の経験から、どんな状況においても目標を持って常に頑張っていきたいと考えられるようになりました。

6組 松本 凌悟
今回の自粛で、大事な高校生活が削られてしまいました。試験もいつ行われるかわからない状況で、勉強以外で普段できないことをしてみようと思い、花を育てることにしました。それまでは全く興味がなかったのですが、だんだんと習慣となり、何も目的がなかった生活が充実し始めました。さまざまな制限のある中でも、何もできないと投げやりにならず、自分なりにできることを考えて、行動することで生活が豊かになるということを学ぶことができました。

7組 蓮沼 寛太
野球部員である自分にとって一番大きな影響は甲子園大会がなくなったことです。3年生にとっては最後の大会ということもあり、清々しく高校野球を終えることができなかつたと思うし、私たち2年は1つ機会が失われたということで本当に残念です。このような状況ではありますが、感染リスクをできる限り抑えつつ練習に励んでいきたいです。

8組 安藤 さえか
私が緊急事態宣言下で感じたことは、計画していたことが縮小されたりなくなったりするなど、去年と同じようにいかないことが多かったということです。私の所属している軽音楽部では、卒業ライブや夏の合宿、他校との合同ライブがなくなりました。それでも、できる範囲でのレクなど楽しめることがあったのは嬉しかったです。来年の夏までには、今までのように楽しく部活動などができるようになってほしいです。

9組 片桐 俊
こんなにも長い臨時休校は初めてだったので、困惑し少し不安もありました。今までは毎日学校へ行き、部活動に参加して帰るのが当たり前でしたが、自粛生活で部活動ができなくなり、再開した時への焦りを感じました。ですが、家でのオンライン授業は自分にとって新鮮で楽しかったし、また新しい趣味ができるきっかけにもなりました。しかし思い切った体を動かすところもなかったため、どちらかというと大変と感じることが多かったです。

10組 石井 義之
長い期間学校が休校となり、吹奏楽部も満足に活動できませんでした。このような状態でも何かできないかと思った我々部員は、リモートという状況の中で活動してみようと考えました。そこでリモート合奏を動画サイトで配信し、日本だけでなく世界を明るくしたいと思いました。一つ目の動画を配信したところたくさんの方々から視聴していただき、多くの温かいコメントをいただきました。このような状況だからこそそれを合わせる大切さをより強く感じました。

訂正：9月号で「学年だより高2」のページに掲載しました2年6組の級長名に誤りがありました。正しくは、川上 泰輝さんでした。お詫びし、訂正いたします。

学年だより 高3

大学生活への抱負

前期が終了し、高校生活も残りわずかとなった一方で、大学生活への希望も現実的なものとなってきました。卒業後の進路は多様ですが、今回は生徒の大学生活、将来の抱負を紹介します。

1組 本城 柚香
私が選んだ学科では、環境、福祉、ビジネスについて学べ、またそれらの関係性についても学ぶことができます。そのため私は大学入学後、社会の仕組みや制度、現代の社会が抱える問題について深く学んでいきたいと思っています。また、学んでいった上で、特に学びたいと思った分野を選択し、より詳しく学ぶことができるので、私自身に合ったものを見つけていることができるように、しっかりと勉強していきたいと思っています。

2組 玉置 紗良
今年はコロナウイルスが大流行するとともに学校にも行けない中、どうにか時間を有効活用し勉強に励んできました。私は大学に入学したら、自分が興味を持っている分野を積極的に勉強し、知識を深めていきたいです。また、学んだ知識を将来仕事に就くためにフル活用できるよう、今よりも勉強に力を入れ、怠けることのない日々を送っていきたいです。残りの学校生活では部活動との両立を頑張っていきます。

3組 高島 颯汰
私は情報理工学部に進学したら、コンピュータ機器の操作を中心とする能力を得たいと考えています。昨年から今もなお猛威を振るっているコロナによって普及したテレワークでは、インターネットの重要性をより私に伝えてくれました。この先さらにインターネットが普及する中で必要となるコンピュータ機器の発達に尽力できるように、情報理工学部ではプログラミングの基礎知識やパソコンの応用操作を身につけたいと思います。

4組 小林 啓人
以前からお金の動きや、どのように経済が回っているのかに関心を持っていました。今回の感染症の影響を目の当たりにして、経済活動がいかに社会に必要不可欠なのかを再認識しました。大学では基礎的な経済学を中心に、英語での授業や国際経済の授業などにとっても興味があります。また日本と外国との経済的な結びつきについて理解を深め、グローバルな社会に貢献できる力を養いたいです。

5組 小林 秀俊
私は今まで多くの場所へ行き、そこでたくさんのスポーツアクティビティを経験しました。普段から体を動かすことが好きなので、体を動かす楽しさを人々に伝えられる仕事に就きたいと思い、観光学部に進もうと思いました。観光学部に入ったら、アウトドアスポーツなどの基礎を学び、インストラクターとしての力をつけるほか、海外の方ともコミュニケーションが取れる英語力を身につけ、人々を笑顔にできるようになりたいです。

6組 石間 勇斗
大学では部活動を重点的に頑張りたいと思います。高校では新型コロナウイルス感染症の影響により、3年生での試合がすべてなくなってしまい、目標を果たせず悔しい思いをしました。大学ではその悔いを果たせるように4年間全力を尽くし、日本一という目標を達成できるように頑張りたいと思います。また部活動だけではなく、勉強面でも手を抜かず文武両道を目指して頑張りたいと思います。

7組 伊佐 龍之介
僕の幼い頃からの夢は船長になることです。この夢を叶えるために、航海士を目指す道を選びました。航海士になるということは人の命を預かるということです。そのためには大きな責任が伴います。僕はまだ何の知識もない上に、重い責任を負う準備もできていません。でも大学4年間でこれらを学ぶ準備はできています。大学では座学や実習を真面目に取り組み、一生の間一回も事故を起こさない立派な船長になれるよう頑張ります。

8組 塩崎 朱理
私の大学での目標は、英語を中心に第二外国語も話せるようになることです。国際学科はネイティブの先生や留学生がいっぱいいるので、そのような方と積極的にコミュニケーションを取り、授業で学んだことを活かして自分の英語力を伸ばしたいです。また、今まで触れたことのない国際学についても学ぶ機会があるので、自分の教養を高められるようにしたいです。

9組 加藤 慎也
私は将来、臨床工学技士になりたいと考えています。臨床工学技士になるために、東海大学では工学部医用生体工学科を卒業し、国家試験を受ける必要があります。この医用生体工学科で4年間を過ごす中で自分自身を高め、医学的知識や工学的知識を身につけ、豊富な知識を持った臨床工学技士を目指したいと思っています。規定よりも多くの単位数を取得しなければならないなどの難しく思われる点もありますが、仲間と共に切磋琢磨していきたいです。

10組 矢澤 一篤
私は幼少期から、自動車にとっても興味があります。最近になり、自動車にはさまざまな技術が使われていることや、SSH活動により研究することの楽しさを知りました。将来は動力・運送機械の開発や研究に関わる仕事に就きたいと思っています。大学では、自動車の技術や、技術を理解するための基礎知識について深く学びたいです。そして、少しでもこの夢に近づけるよう、大学で学べる知識やスキルを余すところなく身につけたいです。

お知らせ

2020年度 第56回建学祭

テーマ:「紡」～つむぐ～

日時:10月10日(土)・11日(日)

行事予定

※予定が変更になる場合があります。

October 10 月

- 1日(木) 後期始業式 短縮授業
学年集会①(高1)
- 2日(金) 塾教員対象学校説明見学会
スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)
- 4日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会(高校)③
- 6日(火) **第19回高校体育祭予備日**
(実施済および雨天延期時は授業日)
- 7日(水) 建学祭開祭式(7限)
- 8日(木) 建学祭準備(~9日)
- 10日(土) 第56回建学祭(~11日)
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 建学祭閉祭式 短縮4時限授業(5-6時限カット)
校医相談日⑥ 学校保健委員会② 安全衛生委員会⑥
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング②
- 16日(金) **第19回高校体育祭予備日**
(実施済および雨天延期時は授業日)
- 18日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会(高校)追加実施
- 29日(木) 生徒会立会演説会(1時限 中等部:アリーナ、高校:放送)
- 31日(土) SSH成果報告会(特別時程)

November 11 月

- 1日(日) 東海大学建学78周年記念日
- 2日(月) 火曜日の授業 GTEC Junior 受検日(中1)
- 3日(火) **文化の日**
- 4日(水) 高輪台高校創立76周年記念式典
朝礼 短縮授業
- 5日(木) 学園高大連携総合試験(高3)
基礎力判定試験(高1・2)
外部実力試験(中等部)
- 6日(金) 付属推薦小論文試験
漢字検定(希望者)②
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(高校)
- 10日(火) 校医相談日⑦
- 11日(水) 専門医によるカウンセリング③
- 15日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(中等部)
- 16日(月) ダンス部定期公演
- 18日(水) 一斉公開授業①(~19日)
- 21日(土) 3時限授業 東海カルチャーセミナー
後援会委員総会
- 23日(月) **勤労感謝の日**
- 26日(木) 生徒による授業評価アンケート②

健康診断・GTECを実施



4月に行えなかった健康診断を8月末に実施しました(中高全学年)



GTECを受検しました(中等部)



編集後記

朝晩が涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。「〇〇の秋」などと言うように、秋は涼やかなこともあってさまざまなことにチャレンジしやすい季節です。今年は、「スポーツの秋」にしても「芸術の秋」にしても、「他の人とは距離をとって…」とか「会話はお控えください…」とかいろいろと制約が多く、思う存分満喫というわけにはいきませんが、どうぞ思い思いの「〇〇の秋」を楽しんでください。ちなみに、私は断然「食欲の秋」。芋、栗、南瓜、最高です!(う)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>